

# ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社

## 2020年2月期 第1四半期 決算説明会資料

2019年7月10日

—注意事項—

本資料の記述には、当社の将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。実際の業績等は、経済の動向、当社を取り巻く事業環境等の様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

# 2020年2月期 第1四半期決算概要（P/L）

2

（単位：億円）

	2019年2月期 第1四半期	2020年2月期 第1四半期		主な増減要因
	実績	実績 <sup>(*1)</sup>	前年同期差	
営業収益	1,588	1,329	▲ 259	カネ美食品の連結除外 FM直営店減少による売上高減少
事業利益	132	195	63	FM既存店・CKS転換店ともに好調 統合費用減少・本部コスト削減
税引前利益 <sup>(*2)</sup>	96	142	46	事業利益の増加
親会社所有者帰属利益 <sup>(*2)</sup>	70	203	133	FM単体の利益増加 特殊損益の計上 <sup>(*3)</sup>

\*1) 2020年2月期第1四半期よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

\*2) 2019年2月期第1四半期実績ではユニー関連の譲渡影響を除いた数値を記載しております。

\*3) 2019年9月1日の合併税メリット+96億円、構造改革に伴う店舗閉鎖の損失計上▲10億円。

## 事業利益、税引前利益、親会社所有者帰属利益は大幅増益

- FM既存店・CKS転換店ともに好調。統合費用減少・本部コスト削減もあり、事業利益は大幅増益
- 事業利益の増加により、税引前利益、親会社所有者帰属利益も増益

# 2020年2月期第1四半期(P/L・営業数値)\_FM単体

	(単位：億円)		
	2019年2月期 第1四半期	2020年2月期 第1四半期	
	実績	実績	前年同期差
営業収益	1,109	1,025	▲ 84
事業利益	115	171	56
税引前利益	75	131	56
親会社所有者帰属利益	52	95	43

		2019年2月期 第1四半期	2020年2月期 第1四半期	
		実績	実績	前年同期差
全店日商	千円	512	528	16
既存前年比	%	99.0	101.7	-
新店日商	千円	573	585	12
新規出店（含む、B&S）	店	95	67	▲ 28

- 【FM単体の営業概要】
- 既存前年比 は**102%**。ブランド転換店については**103%**と好調に推移。
  - 新規出店は厳選(**31店**)、B & S出店を推進(**36店**)。新店日商については、**585千円**と前年を上回る水準。

## ➤ 新商品導入効果もあり、日商は好調に推移

### ①お母さん食堂強化

**惣菜**  
売上前年比 125%



### ②新コーヒーマシン

**導入店**  
売上前年比 110%  
9月迄に全店導入完了



### ③ポケチキ

**5/14発売**  
売上好調



### ④イチオシ弁当

「豚生姜丼」3月  
「唐揚丼」4月  
「ダブル味噌豚丼」5月



## ➤ 加盟店との対話の一層の重視／廃棄ロス削減

- 加盟者・店長・スタッフとのコミュニケーションを強化し、施策の徹底度が向上。
- 発注精度の向上により、売場構築を進め、廃棄ロスを削減。

## ➤ 本部コストの削減

- 人件費等の削減や委託業務の見直し等、本部コスト年間50億円削減に対し、着実な成果。

7月1日 デジタル戦略を本格始動

1 FamiPayリリース、大キャンペーン開始



ファミマ商品など  
総額 **88億円**  
あげまくっちゃう

ファミマの FamiPay  
バーコード決済  
チャージ金額に対して  
最大 **15%** 還元  
7月31日まで

2 (株)ファミマデジタルワンの始動

**FamimaDigitalOne**

- (株)UFI FUTECHを商号変更
- FamiPay事業の拡大他、グループのデジタル関連ビジネス推進を担う

進捗と今後

初日だけで  
161万DL

ダウンロード  
(7月9日時点)




**250万DL突破**  
※2020年度1,000万DL目標

キャッシュレス  
比率

**前年比120%**  
※2022年度キャッシュレス比率  
50%目標

今後の展開

【11月】


- マルチポイント化の開始   
- FamiPayチャージへの銀行口座連携

【下期中】

- 小口ファイナンス等の金融事業等の新サービスを開始

# IFRS第16号「リース」適用による財務諸表への影響

- 貸借対照表（B/S）では、不動産賃借契約の全てが新規にオンバランス。
- キャッシュ・フロー計算書（C/F）では、営業活動キャッシュ・フローと財務活動キャッシュ・フローにそれぞれ計上。

現行基準		IFRS16号適用後	
B/S		(単位：億円)	
(単位：億円)			
資産	負債	使用権資産 7,697	リース負債 7,177
	純資産	資産	負債
		純資産	
		➤ 使用権資産及びリース負債には、従前オンバランスしていたファイナンス・リースを含む。	
C/F		(単位：億円)	
(単位：億円)			
営業活動CF		営業活動CF	
税前利益	146	税前利益	142
減価償却費	142	減価償却費	534
:		利息の支払	17
:		:	
財務活動CF		財務活動CF	
リース債務の返済	▲77	リース債務の返済	▲410

➤ 損益計算書（P／L）では、従来の借地借家料に代わり、減価償却費及び支払利息をそれぞれ計上。

現行基準		IFRS16号適用後	
P／L			
(単位：億円)		(単位：億円)	
営業収益	1,349	営業収益	1,329
借地借家料	440	借地借家料	21
減価償却費	140	減価償却費	532
:		:	
事業利益	186	事業利益	195
支払利息	5	支払利息	17
:		:	
税前利益	146	税前利益	142
:		:	

# 【参考】2020年2月期 通期計画 (P/L)

➤ 4月10日公表据え置き。

単位：億円

	2020年2月期	
	計画	前期差
営業収益	5,250	▲ 922
事業利益	650	134
税引前利益	600	558
親会社所有者帰属利益	500	46

※2020年2月期通期計画は変更していません。IFRS第16号「リース」の適用により事業利益に影響はありますが、現在精査中です。